

2021年8月11日

各 位

会 社 名 株式会社 AKIBA ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 馬場 正身
 (JASDAQ・コード番号 6840)
 問合せ先 取締役管理本部長 五十嵐 英
 (TEL. 03-3541-5068)

2022年3月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

2022年3月期第2四半期 連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2021年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 6,500 | 80 | 80 | 17 | 1.85 |
| 今回修正予想 (B) | 7,000 | 120 | 117 | 60 | 6.53 |
| 増減額 (B-A) | 500 | 40 | 37 | 43 | |
| 増減率 (%) | 7.7 | 50.0 | 46.3 | 252.9 | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期) | 6,468 | 242 | 244 | 140 | 15.31 |

※2021年7月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、2021年3月期の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

修正の理由

第1四半期においては、メモリ製品製造販売セグメントにおいて、PCメーカー向けのメモリ売上が予想を超える水準となったこと、法人向けメモリ需要が回復したこと、並びに、IoTソリューション事業において付加価値の高い開発案件が伸長したこと、通信コンサルティングセグメントにおいて、通信建設工事の規模が順調に拡大したこと、また、予算比で販管費が抑制されたことから、売上、利益とも高い水準となりました。

一方で、第2四半期につきましては、メモリ製品製造販売セグメントにおいて、第1四半期のPCメーカー向けのメモリ販売に前倒しによる部分があったこと、半導体不足の影響により一部製品の減産が生じていること、緊急事態宣言等の発出により旅館事業の収益状況が引き続き厳しい状態であること、並びに、新規事業開発等にかかる一時的な費用の増加を見込んでいることから、売上、利益とも第1四半期と比べて厳しい状況ではあるものの、累計では従来発表予想を上回る見込みとなりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の変異株の流行拡大による景気の先行き不透明感が強く、また、世界的な半導体不足の継続によるメモリ販売の縮小懸念があること等から、通期連結業績予想につきましては、現時点では、従来発表予想を据え置くことといたしました。

以 上